

4月25日の原子力安全専門委員会における 大堀委員からの質問に対する回答

平成24年5月8日
原子力安全・保安院

質問要旨: 大飯発電所3/4号機を仮に福島第一サイトに置いたとして、3月11日の地震・津波が襲来した場合、いろいろな安全対策を行い、重大事故にはつながらないという評価をしたのか。

- ・福島第一原発を襲ったような地震と津波が来襲した場合でも燃料の損傷を防止する対策が講じられていることを確認。
- ・福島地震が想定1.1倍程度であったことを踏まえれば、想定1.8倍の地震は十分に大きく、また若狭湾近くに大規模な津波を引き起こすプレート境界はなく、11.4mの津波は歴史上の記録を踏まえても十分余裕がある。
- ・なお、これまでの調査結果によれば天正地震による津波は大規模なものではなかったと考えるが関西電力による今後の調査結果を確認する。内陸活断層を連動の可能性についても関西電力による今後の検討結果を確認する。

		地震		津波	
		地震動	想定との比較	津波高さ	想定との比較
福島第一	想定	600ガル	約1.1倍	5.5m	+9.5m
	実際	675ガル		15m	
大飯3/4	想定	700ガル	1.8倍	1.9m	+9.5m
	限界	1260ガル		11.4m	